

法人理念	その人が願う地域の暮らしを永続的なものにする。
支援方針	私たちキッズサポートセンター千兵衛'sインクは、色々な学校や学年の子との関わりから、周りの子と話し合ったり自分で決めたりしたことをやる経験を通し、自主性や自己肯定感が育つ場所にする。
営業時間	平日:11:00~20:00 、 休日:8:30~17:30
サービス提供時間	平日:14:00~18:00 、 休日:9:30~15:30
送迎実施の有無	実施あり

プログラム	支援内容(5領域)
はじまりの会	挨拶をしたり、座って話を聞くという事の習慣化や、今日やる活動内容を知る目的で行う。活動と遊びの切り替えにもなり、千兵衛でメリハリを持って生活をしていく為に行う。時間を意識して、開始時間に合わせて集まる、話している間は静かに聞くなど社会的なルールの理解・獲得にもつなげる。(健康・生活、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性)
自由遊び	室内で遊ぶか、外で遊ぶかを選択してもらったり、自分が何で遊びたいか、誰と遊びたいかをきちんと言語化して伝えられるようにする。遊びを通して、ルールや人との距離感や関わり方を身に着け、運動動作、保有感覚の基本的なスキル向上を目指していく。(運動・感覚、言語・コミュニケーション、認知・行動、人間関係・社会性)
生活	将来に向けた生活スキルや社会性の向上に繋げていく為に、挨拶、言葉遣い、気持ちの学習を活動の中で行う。月間の目標を決めて、それに対しての振り返りも行うなどして、千兵衛での生活全般を通して目標を意識して行動できるように支援を行う。(健康・生活、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性)
創作	粘土や絵の具などの様々な素材に親しみ、色や感触を楽しみながら、集団・個別での創作を行う。一緒に作りたいイメージや使いたい材料を決めたり、道具を貸し借りしたり、コミュニケーションを取りながら、物を作る楽しさを味わう活動とする。(認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性)
クッキング	様々な材料に親しみ、簡単な調理を体験しながら、触覚・味覚を使って、作る事・食べる事を楽しむ活動とする。工程表を見て作ったり、実物で手本を見せながら支援者と調理をしたりして、食への興味関心やできる事の幅を広げていく。手袋をする、エプロンを付けるなど調理前の衛生面に配慮する事や、材料の計量も自分たちで行うなど、将来働く事に繋がるような事も、おやつ作りという楽しみを通して身に着けていく。(健康・生活、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係・社会性)
余暇(外出等)	電車に乗って出かけたり、外食をしたり、買い物をしたり、年相応の経験を仲間とともに見えるような機会を提供していく。日頃なかなか自分達ではやれないような事を、友達と一緒にできたという達成感や自信を、余暇の楽しみの中で見出していく。主に、土曜日や長期休暇等の支援で実施する。(健康・生活、認知・行動、言語・コミュニケーション、人間関係:社会性)

## 家族支援

子どもの発達状況や特性に合わせた相談援助や、親御様の困り事への相談支援を行っていく。具体的には、ニーズに応じて、家族支援の為の面談や、学校・相談員等とも連携して支援会議を行うなどしていく。また、送迎時や電話連絡等でもお話をさせていただき、日頃の悩みや学校・家庭・デイでの様子の相談にも応じたりしていく。親御様との接点が多い分、何気ない会話から、子どもに関しての気づきや、支援でのつまずきなどを察して、デイや家庭での必要なサポートに繋げられるように配慮していく。将来や就労に関しての不安、性教育に関しての不安も多く聞かれるので、交流会や勉強会等の情報交換の場を設けたり、支援者や先輩ママとのお話会を行ったりする事で、様々な面から親御様・お子様の安心できる生活をサポートしていく。

## 移行支援

将来のライフステージが変わっていく事への準備・練習ができるように、段階に応じた支援を行う。日々の日課の中で、遊びと活動の切り替えを学び、自分で片付けをしたり、時間を守ったりと、集団の中でルールを理解していく事を、繰り返し経験する中で意識できるようにしていく。そういう積み重ねが、社会に出た時に立つように支援を行う。また、畑に行って作物を育てたり、協力していただける企業で職場体験を行ったり、千兵衛での環境を活かして、将来の働くに繋がるような経験を提供できるようにしていく。11月の千兵衛マルシェに向けての製品づくりも行い、実際に製品を作ったり販売したりする事で、自分たちで作った物が売れる喜びや、人に見てもらう経験、接客をするといった経験もし、小さなことから自信に繋げられるように支援を行なう。

## 地域支援・地域連携

年に1回程度、地域の方を招いたマルシェでの販売を行い、子ども達が作った製品を実際に販売したり、作品やダンスの成果など活動を通した頑張りを発表したりして、地域の方にも子ども達の事を知っていただけるような機会をもつ。どういう子が千兵衛に通ってきているのかを知つてもらい、地域の方が安心できることで、お互いを気にかけ合い、最終的には助け合えるような関係性を目指していく。また、ロッケンハウスに通うお子さんとの交流の場を持ち、地域にいる違う学校のお子さんともふれあい、お互いを知る機会とする。

学校や地域の事業所、児童発達支援事業所等との情報交換や連携にも努め、福祉サービスもそれ以外も含めた全体で子ども達を支えて行けるような働きかけを行っていく。

## 職員の質の向上

支援力向上や制度理解、安全・非常時対策等の為に、年に数回の研修の場を設けている。内部の職員や外部講師による、障害特性に応じた支援方法の研修や、実践・振り返りも行っており、子どもの理解に合わせた視覚支援や準備等ができるような働きかけを行っている。子ども達が安全に楽しく、根拠を持った療育を受けられるように、職員の資質向上に努めている。

## 主な行事等

ロッケンの子どもとの水遊びイベント(8月)

保護者説明会(6月)

千兵衛マルシェ(11月)

性教育勉強会(11月)

親子カフェ(3月)